

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Passoくらぶ				公表日	2026年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		事務スペースから訓練室全体を見渡せる配置に整えている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>		カリキュラムに併せて配置を考えている。	配置基準は満たしているが、更なる良いサービス提供を心がけている。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		多目的トイレを設置。情報伝達においては写真などを用い視覚的な情報の提供をしている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>		日常的に清掃を徹底し、清潔な環境を保つとともに子供達が快適に過ごせる空間を心掛けている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>		必要に応じて個室空間で学習や活動が出来るよう個別スペースを提供している。	空間の確保のため物を少なくし整理整頓に努める。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的にミーティングを行い職員同士の活発な情報交換を心がけている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		無記名でのアンケートを実施し、多くの保護者様からのご意見を多くいただけるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的なミーティングで一人一人の意見を尊重し、それを業務改善に繋げられる機会を設けている。	非常勤職員を多く抱えているため、職員全員での情報共有を心がけ運営にあたっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価は実施しておりません。	今は行っていないが、今後取り入れるよう努めていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		職員の専門性向上の為、研修受講機会を確保し取り組んでいる。	外部の研修や自立支援協議会への参加を通じ、他社の事例検討などを参考にし、業務改善に努めていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		適切に支援プログラムが作成、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者とお子さんに対し適切なヒアリングを実施し、一人一人のニーズや課題について分析し計画を立てている。	適応状況の把握に努めていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		支援に関わるすべての職員が、共通理解のもと以前の利益を考慮し検討を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービス計画を共有し、計画に沿った支援が提供できる様努力しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		状況を正確に把握するため、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントと日々の行動観察を含むインフォーマルなアセスメントの両方を活用し、多角的に確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個々に必要な項目を抽出し、具体的な支援内容を盛り込んだ計画を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		立案はチームで行い、子供たちのニーズに応じたプログラムを提供できる様努めています。		

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムの見直しや外部講師の授業を組み入れるなどの工夫をしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		非常勤職員が多く在籍しているため、職員間の情報共有や支援前の打ち合わせを行い、支援内容、役割分担を確認し支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了時には、その日に行われた支援内容の振り返りを通じて、気づいた点や子供の様子を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援に関し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを適切に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を複合的に組み合わせる事で、お子様の包括的な発達支援を目指しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子供達が自己選択できるような工夫を凝らし、自己決定力を育てるための支援を積極的に行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、本人の状況をよく理解している職員が必ず参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		積極的に自立支援協議会にも参加し、関係機関とも密接に連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		月に一度市内の特別支援学校に訪問し、情報共有を行っています。他の学校についても普段から連携し情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		主な利用対象者が中学生や高校生の年代な為、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等とは、現状連携を行う機会は多くありません。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供し円滑な移行支援に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		自立支援協議会の児童部会に参加し、会議や研修に積極的に参加しています。また、個別支援ケースにおいては専門職にスーパーバイズを依頼しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	年齢が合わず交流は考えていないが、イベントなどの交流であれば考えていきたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人として自立支援協議会の運営委員を務めるなど、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃からこどもの状況を保護者様と伝え合い、お子さまの発達の状況や課題について共通理解を深める事に努めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的にご家族が参加できる研修や情報共有を行っています。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に運営規程、支援費用、利用者負担等について十分な説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		本人、保護者様の意見を尊重し、お子様の最善の利益を最優先に考慮する観点から、ご意向を十分に確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容をご説明する際は「放課後等デイサービス計画」をご提示し保護者様から同計画案への同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族等からの子育ての悩みに適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者セミナーなどを開催することで連携を取り支援に繋がっています。	きょうだい同士で交流できるイベントなども計画していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の事業所通信に加え、HPやSNS等を活用することで、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を多角的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いに十分留意し、プライバシー保護に最大限配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思の疎通や情報伝達において、個々のニーズに応じた配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		漢字能力検定などの会場としてご利用いただいております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応に関する各種マニュアルを策定し、周知と訓練を定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常事態発生時においても事業を継続し、支援を維持できる様、業務継続計画（BCP）を策定しています。また、非常災害に備え、定期的な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に保護者様から情報を聞き取り確認をしています。また、アセスメントシートに記載いただき支援者が閲覧できる形で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギー調査はしているが、医師の指示書に基づく対応までは徹底できていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じることで、安全管理が十分された中で支援が行われています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保に関して、ご家族との連携を強化するため、安全計画に基づく取組内容について、ご家族へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した場合、速やかに詳細な報告書を作成し、報告書は全職員が閲覧できる様閲覧や会議で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を継続的に行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合の対応について、定期的に職員の研修を実施しています。しかし、現状では放課後等デイサービス計画への記載は行っていません。		